

成田空港の2017年夏ダイヤ定期航空会社別スケジュール

**総発着回数、国際線発着回数、国内線発着回数、
就航都市数、定期乗り入れ航空会社数が開港以来最高を記録**

2017年夏ダイヤ(2017年3月26日～2017年10月28日)期初(※)の定期航空会社別スケジュールについて、総発着回数が4,720回/週、就航都市数が海外108都市、国内17都市、合計125都市、乗り入れ航空会社数が96社となりました。(※集計対象期間は2017年4月16日～4月29日(14日間))

◆発着回数

- ・ 総発着回数は、国際線及び国内線の旅客便における新規就航や増便等により、2016年夏ダイヤより206回増え、4,720回/週と**最高値を更新**しました。
- ・ 国際線発着回数は、ヤクーツク航空(1月31日)やアトラスエア(3月2日)等の新規就航や、韓国、香港などアジア方面を中心とした増便等により、2016年夏ダイヤより124回増え、3,695回/週と**最高値を更新**しました。
- ・ 国内線発着回数は、バニラエア/大阪(関西)線(2月18日)、函館線(2月19日)の新規就航やLCC各社の増便等により、2016年夏ダイヤより82回増え、1,025回/週と初めて1,000回を超え、**最高値を更新**しました。

◆就航都市数

- ・ 就航都市数は、バニラエア/函館線(2月19日)の新規就航やウズベキスタン国営航空/タシケント線(3月28日)の運航再開により、海外108都市、国内17都市、合計125都市(129路線)と**最高値を更新**しました。

◆定期乗り入れ航空会社数

- ・ 今夏ダイヤ期初では、ヤクーツク航空やアトラスエア等の新規乗り入れにより、定期乗り入れ航空会社数が96社と**最高値を更新**しました。

2017年夏ダイヤ 定期航空会社別スケジュール発着回数

総計

(単位:回)

区分	区 分	週間発着回数			増 減	
		17夏①	16冬②	16夏③	①-②	①-③
総計	国際線	3,695	3,625	3,571	70	124
	国内線	1,025	985	943	40	82
	国際・国内線計	4,720	4,610	4,514	110	206
	日平均	674	659	645	15	29

国際線 (旅客便・貨物便)

(単位:回)

区分	略号		航空会社名	週間発着回数			増 減	
	3レター	2レター		17夏①	16冬②	16夏③	①-②	①-③
第1ターミナル北ウイング	ACI	SB	エア・カレドニア・インターナショナル	10	10	10	0	0
	AFL	SU	アエロフロート・ロシア航空	14	14	14	0	0
	AFR	AF	エールフランス航空	14	14	14	0	0
	AMX	AM	アエロメヒコ航空	14	10	8	4	6
	AZA	AZ	アリタリア・イタリア航空	28	24	28	4	0
	BER	AB	エアベルリン★ (ETDとのコードシェア) ※2017年3月26日よりT1Sから移転					
	CSC	3U	四川航空	8	8	8	0	0
	CSN	CZ	中国南方航空	36	36	36	0	0
	CXA	MF	厦門航空	8	8	8	0	0
	DAL	DL	デルタ航空	172	172	244	0	△ 72
	ETD	EY	エティハド航空 ※2017年3月26日よりT1Sから移転	14	—	—	14	14
	GIA	GA	ガルーダ・インドネシア航空	14	14	14	0	0
	HAL	HA	ハワイアン航空	14	14	—	0	14
	HVN	VN	ベトナム航空	48	48	48	0	0
	JNA	LJ	ジンエアー●	28	28	—	0	28
	KAL	KE	大韓航空	90	104	102	△ 14	△ 12
	KLM	KL	KLMオランダ航空	14	14	14	0	0
	SEY	HM	エア・セイシェル★ (ETDとのコードシェア)					
	SHU	HZ	オーロラ航空	10	2	—	8	10
	SYL	R3	ヤクーツク航空	4	—	—	4	4
第1ターミナル北ウイング (T1N) 合計 (20社)				540	520	548	20	△ 8
第1ターミナル南ウイング	AAR	OZ	アジアナ航空	64	56	56	8	8
	ABL	BX	エアブサン●	28	28	14	0	14
	ACA	AC	エア・カナダ	22	20	22	2	0
	AJX	NQ	エアージャパン	14	14	14	0	0
	ANA	NH	全日本空輸	560	540	532	20	28
	ANZ	NZ	ニュージーランド航空	14	14	18	0	△ 4
	AUA	OS	オーストリア航空	0	0	10	0	△ 10
	BER	AB	エアベルリン★ (ETDとのコードシェア) ※2017年3月26日よりT1Nへ移転					
	CCA	CA	中国国際航空	72	72	72	0	0
	CDG	SC	山東航空★ (ANAとのコードシェア)					
	CSZ	ZH	深圳航空	14	14	14	0	0
	DLH	LH	ルフトハンザドイツ航空★ (ANAとのコードシェア)	0	6	6	△ 6	△ 6
	ETD	EY	エティハド航空 ※2017年3月26日よりT1Nへ移転	—	14	14	△ 14	△ 14
	ETH	ET	エチオピア航空	6	6	6	0	0
	EVA	BR	エバー航空	42	42	42	0	0
	JAI	9W	ジェットエアウェイズ★ (ANAとのコードシェア)					
	LOT	LO	LOTポーランド航空	6	6	6	0	0
	MGL	OM	MIA Tモンゴル航空	6	6	6	0	0
	MSR	MS	エジプト航空★ (THYとのコードシェア)					
	NLY	HG	ニキ航空★ (ETDとのコードシェア)					
SAA	SA	南アフリカ航空★ (ANAとのコードシェア)						
SAS	SK	スカンジナビア航空	14	12	14	2	0	
SIA	SQ	シンガポール航空	42	42	42	0	0	
SWR	LX	スイスインターナショナルエアラインズ	14	14	14	0	0	
THA	TG	タイ国際航空	42	42	42	0	0	
THY	TK	ターキッシュ エアラインズ	14	14	14	0	0	
UAL	UA	ユナイテッド航空	168	168	182	0	△ 14	
UZB	HY	ウズベキスタン国営航空	4	0	4	4	0	
VAU	VA	ヴァージン・オーストラリア★ (SIAとのコードシェア)						
第1ターミナル南ウイング (T1S) 合計 (25社)				1,146	1,130	1,144	16	2
第1ターミナル 合計 (45社)				1,686	1,650	1,692	36	△ 6
第2ターミナル	AAL	AA	アメリカン航空	56	56	52	0	4
	AIC	AI	エア インディア	8	8	8	0	0
	ALK	UL	スリランカ航空	8	8	8	0	0
	AMU	NX	マカオ航空	14	14	14	0	0
	ANG	PX	ニューギニア航空	4	4	2	0	2
	BAW	BA	ブリティッシュ・エアウェイズ	14	14	14	0	0
	BKP	PG	バンコク・エアウェイズ★ (JALとのコードシェア)					
	CAL	CI	チャイナエアライン	66	66	80	0	△ 14
	CEB	5J	セブパシフィック航空●	22	22	22	0	0
	CES	MU	中国東方航空	48	48	48	0	0
	CHH	HU	海南航空	6	6	6	0	0
	CPA	CX	キャセイパシフィック航空	70	68	70	2	0
	CRK	HX	香港航空	42	28	—	14	42
	ESR	ZE	イースター航空●	34	28	28	6	6
	FFM	FY	ファイアーフライ★ (MASとのコードシェア)					
	FIN	AY	フィンランド航空	14	14	14	0	0
	HKE	UO	香港エクスプレス●	42	42	28	0	14
	IBE	IB	イベリア航空	6	6	—	0	6
	JAI	9W	ジェットエアウェイズ★ (CRKとのコードシェア※)					
	JAL	JL	日本航空	544	552	540	△ 8	4
LAN	LA	ラン航空★ (JALとのコードシェア)						
MAS	MH	マレーシア航空	24	24	24	0	0	
PAL	PR	フィリピン航空	56	54	56	2	0	
PIA	PK	パキスタン国際航空	4	4	4	0	0	
QFA	QF	カンタス航空	28	14	14	14	14	
QTR	QR	カタール航空	14	14	14	0	0	
RBA	BI	ロイヤルブルネイ航空★ (CRKとのコードシェア)						
SBI	S7	S7航空	10	10	10	0	0	
SCO	TZ	スクート●	28	28	14	0	14	
TAM	JJ	TAM航空★ (JALとのコードシェア)						
TAX	XJ	タイ・エアアジアX●	28	28	28	0	0	
THT	TN	エア タヒチ ヌイ	4	4	4	0	0	
TNA	GE	トランスアジア航空	0	28	28	△ 28	△ 28	
TTW	IT	タイガーエア台湾●	32	34	36	△ 2	△ 4	
TWB	TW	ティーウェイ航空●	28	28	14	0	14	
UAE	EK	エミレーツ航空	14	14	14	0	0	
第2ターミナル (T2) 合計 (34社)				1,268	1,268	1,194	0	74

区分	略号		航空会社名	週間発着回数			増減		
	3レター	2レター		17夏①	16冬②	16夏③	①-②	①-③	
旅客便	第3ターミナル	JJA	7C	チェジュ航空●	56	42	28	14	28
		JJP	GK	ジェットスター・ジャパン●	42	42	40	0	2
		JST	JQ	ジェットスター航空●	28	34	30	△6	△2
		SJO	IJ	Spring Japan●	28	14	14	14	14
		VNL	JW	バニラエア●	112	98	98	14	14
第3ターミナル(T3) 合計(5社)				266	230	210	36	56	
国際線旅客便計(84社)				3,220	3,148	3,096	72	124	
日平均				460	450	442	10	18	
貨物便	AAR	OZ	アジアナ航空	4	6	6	△2	△2	
	ABW*	RU*	エアブリッジカーゴ	8	8	8	0	0	
	AHK*	LD*	エアホンコン	12	12	12	0	0	
	AIH*	KJ*	エアインチョン	0	0	6	0	△6	
	AJX	NQ	エアージャパン	14	14	14	0	0	
	ANA	NH	全日本空輸	85	83	93	2	△8	
	CAL	CI	チャイナエアライン	10	10	10	0	0	
	CAO*	CA*	中国国際貨運航空	6	6	6	0	0	
	CPA	CX	キャセイパシフィック航空	12	12	12	0	0	
	FDX*	FX*	フェデラルエクスプレス	86	86	84	0	2	
	GEC*	LH*	ルフトハンザカーゴ	14	12	12	2	2	
	GTI*	5Y*	アトラスエア	8	-	-	8	8	
	ICV*	C8*	カーゴルクススイタリア	2	2	2	0	0	
	KAL	KE	大韓航空	12	12	12	0	0	
	MAS	MH	マレーシア航空	0	0	4	0	△4	
	NCA*	KZ*	日本貨物航空	114	124	106	△10	8	
	PAC*	PO*	ポーラーエアカーゴ	44	44	42	0	2	
UPS*	5X*	ユニテッドパーセルサービス	44	46	46	△2	△2		
国際線貨物便計(16社 *うち貨物専用10社)				475	477	475	△2	0	
日平均				68	68	68	0	0	
国際線計(94社)				3,695	3,625	3,571	70	124	
日平均				528	518	510	10	18	

国内線(旅客便・貨物便)

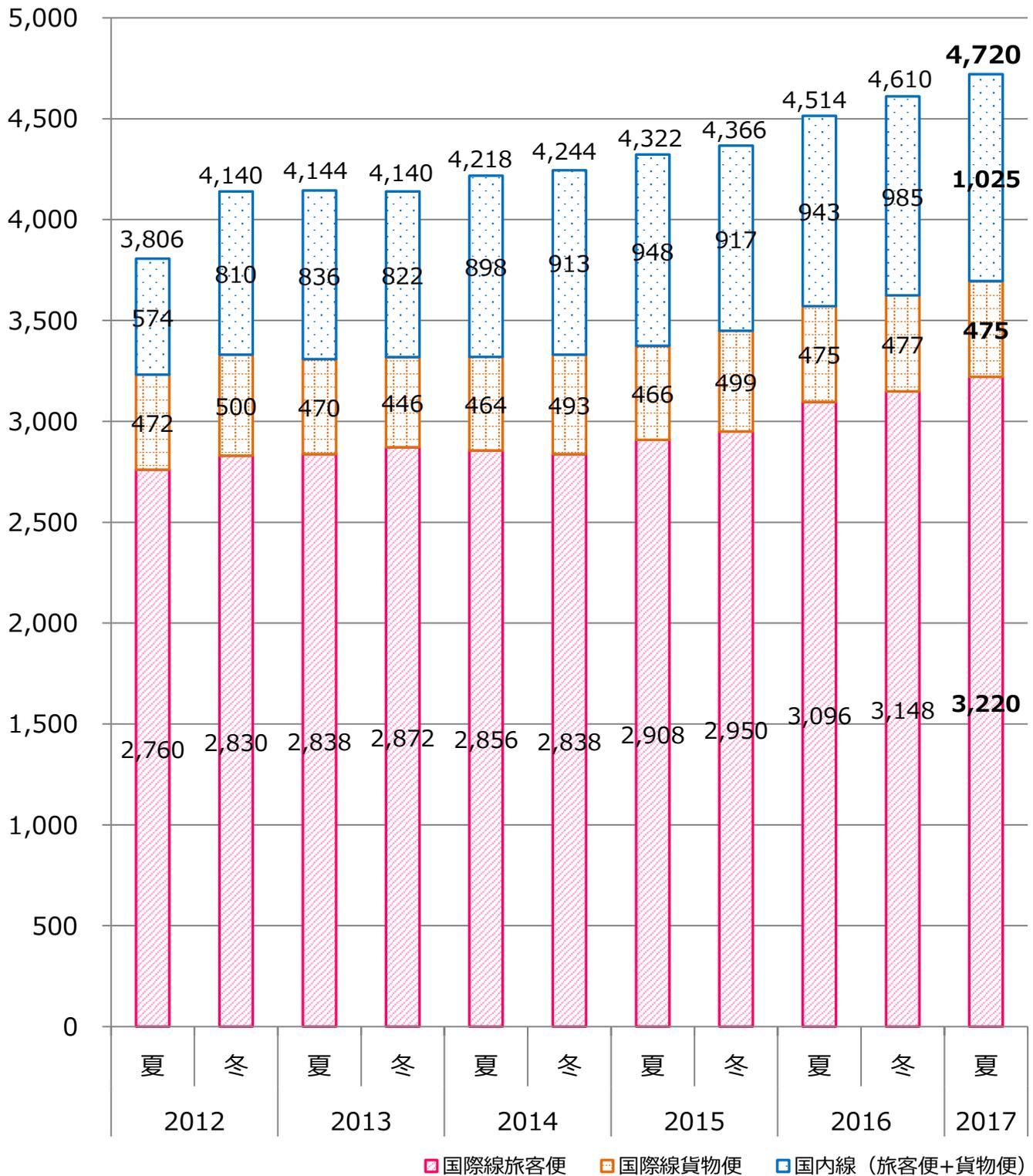
(単位:回)

区分	略号		航空会社名	週間発着回数			増減		
	3レター	2レター		17夏①	16冬②	16夏③	①-②	①-③	
旅客便	T1	ANA	NH	全日本空輸	168	168	168	0	0
		APJ*	MM*	ピーチ・アビエーション●	70	98	98	△28	△28
		IBX*	FW*	IBEXエアラインズ	28	28	28	0	0
	T3	JAL	JL	日本航空	84	84	84	0	0
		JJP	GK	ジェットスター・ジャパン●	416	390	378	26	38
		SJO	IJ	Spring Japan●	84	76	48	8	36
	VNL	JW	バニラエア●	162	122	116	40	46	
国内線旅客便計(7社 *うち国内線のみ就航2社)				1,012	966	920	46	92	
貨物便	ANA	NH	全日本空輸	13	19	23	△6	△10	
	国内線貨物便計(1社)				13	19	23	△6	△10
国内線計(7社 *うち国内線のみ就航2社)				1,025	985	943	40	82	
日平均				146	141	135	5	11	

- ・ 航空会社欄「★」:コードシェアのみの航空会社、「●」:LCC(ローコストキャリア)
- ・ コードシェアのみの航空会社のうち、ジェットエアウェイズは2017年夏ダイヤ以前よりT1Sに就航している為、T1Sの航空会社としてカウントする。
- ・ ■:2016年冬ダイヤ期初と比較して増となった航空会社
- ・ ■:2016年冬ダイヤ期初と比較して減となった航空会社
- ・ ■:2016年冬ダイヤ、2017年夏ダイヤと2期連続で運航がなかった航空会社
- ・ この表は、NAAにて週間発着回数を独自にとりまとめたものであり、国土交通省が取りまとめた数値とは一部異なる。
- ・ 2017年夏ダイヤは、2017年3月26日~2017年10月28日までの期間である。本発着回数は、ダイヤの切り替え後、各社の運航スケジュールが規則的に推移し始める時期の2週間分の発着回数を平均し算出している。2017年夏ダイヤにおける集計対象期間は、2017年4月16日~4月29日(14日間)をベースに算出した。
- ・ 2016年冬ダイヤの週間発着回数は2016年11月6日~11月19日(14日間)を、2016年夏ダイヤの週間発着回数は2016年4月3日~4月16日(14日間)を、それぞれベースとしている。
- ・ それぞれの日平均は小数点以下を四捨五入しているため、日平均の和が合計と一致しない場合がある。

各ダイヤ期初の週間発着回数の推移

(単位：回)



就航都市数：125 都市 129 路線

[海外]108 都市 111 路線(38 力国 3 地域)

[国内]17 都市 18 路線

定期乗り入れ航空会社数：96 社

2016 冬ダイヤ期初 [海外]107 都市[国内]17 都市
【合計】124 都市

【2016 冬ダイヤ期初と比較して増となった都市 2 都市】

2017 年 2 月 19 日 函館／バニラエア

” 3 月 28 日 タシケント／ウズベキスタン国営航空

なお、エア・カナダ/トロント線(5 月 2 日)が運航再開予定であり、同就航により、同日以降の就航都市数は **【海外】109 都市【国内】17 都市【合計】126 都市**と最高値を更新する見込み。

【2016 冬ダイヤ期初と比較して減となった都市 1 都市】

北九州／日本貨物航空(貨物便経由地)

2016 冬ダイヤ期初 93 社

【2016 冬ダイヤ期初と比較して増となった航空会社 5 社】

2016 年 11 月 27 日 ロイヤルブルネイ航空※

2017 年 1 月 31 日 ヤクーツク航空

” 2 月 27 日 エア・セイシェル※

” 3 月 2 日 アトラスエア

” 3 月 28 日 ウズベキスタン国営航空

なお、インドネシア・エアアジアXが 5 月 25 日に定期便として新規乗り入れ予定であり、定期乗り入れ航空会社数は **97 社**と最高値を更新する見込み。

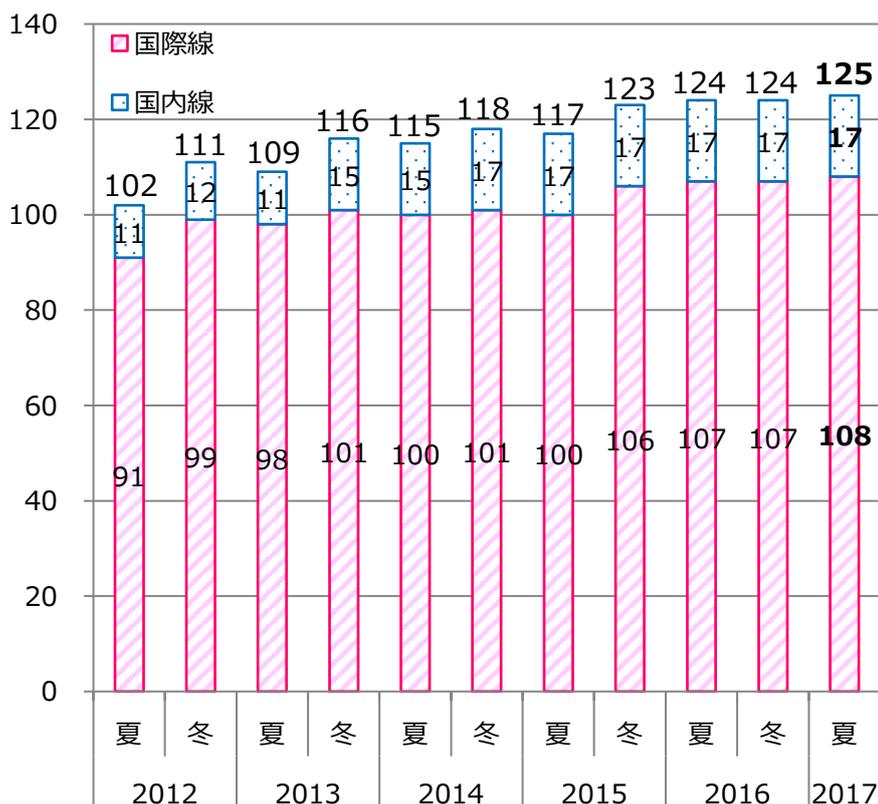
【2016 冬ダイヤ期初と比較して減となった航空会社 2 社】

トランスアジア航空

ニキ航空※

※コードシェアとしての乗り入れ

各ダイヤ期初の就航都市数の推移



各ダイヤ期初の定期乗り入れ航空会社数の推移

航空会社数		
2012	夏	73
2012	冬	79
2013	夏	83
2013	冬	84
2014	夏	82
2014	冬	87
2015	夏	88
2015	冬	87
2016	夏	90
2016	冬	93
2017	夏	96

2017 年夏ダイヤ期初 国際線旅客便の主な増便(2016 年夏ダイヤ比)

航空会社	回/週	備考
香港航空	+42	香港+42(0→42)
● ジンエアー	+28	ソウル+28(0→28)
● チェジュ航空	+28	ソウル+28(28→56)
全日本空輸	+28	武漢+14(0→14)、プノンペン+14(0→14)、ホーチミン+14(14→28)、ニューヨーク△14(28→14)、シカゴ△14(28→14)、メキシコシティ+14(0→14)
● Spring Japan	+14	天津+6(0→6)、ハルビン+8(0→8)
● エアプサン	+14	釜山+14(14→28)
カンタス航空	+14	メルボルン+14(0→14)
● スクート	+14	シンガポール+14(14→28)
● ティーウェイ航空	+14	大邱+14(0→14)
● バニラエア	+14	セブ+14(0→14)、ホーチミン+14(0→14)、台北△14(56→42)
ハワイアン航空	+14	ホノルル+14(0→14)
● 香港エクスプレス	+14	香港+14(28→42)
オーロラ航空	+10	ユジノサハリンスク+4(0→4)、ウラジオストク+6(0→6)
アジアナ航空	+8	ソウル+8(56→64)
アエロメヒコ航空	+6	メキシコシティ+6(8→14)
● イースター航空	+6	ソウル+6(28→34)
イベリア航空	+6	マドリード+6(0→6)
アメリカン航空	+4	シカゴ+4(10→14)
ヤクーツク航空	+4	ユジノサハリンスク+4(0→4)
日本航空	+4	モスクワ+2(8→10)、ホノルル+16(42→58)、ニューヨーク△14(28→14)
● ジェットスター・ジャパン	+2	マニラ+2(12→14)
ニューギニア航空	+2	ポートモレスビー+2(2→4)

【2017 年夏ダイヤ期中に予定されている新規乗り入れ】

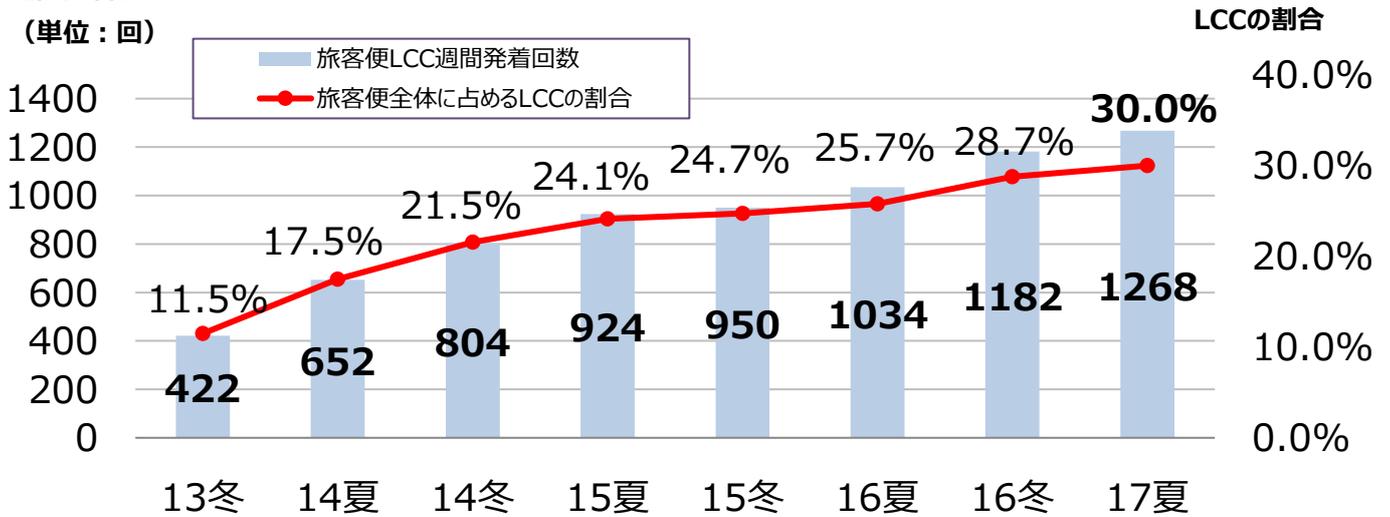
航空会社	路線	回/週	就航予定日
● インドネシア・エアアジアX NEW!	デンパサール	8	5 月 25 日～

「●」は LCC(ローコストキャリア)

成田空港におけるLCCの旅客便発着回数推移

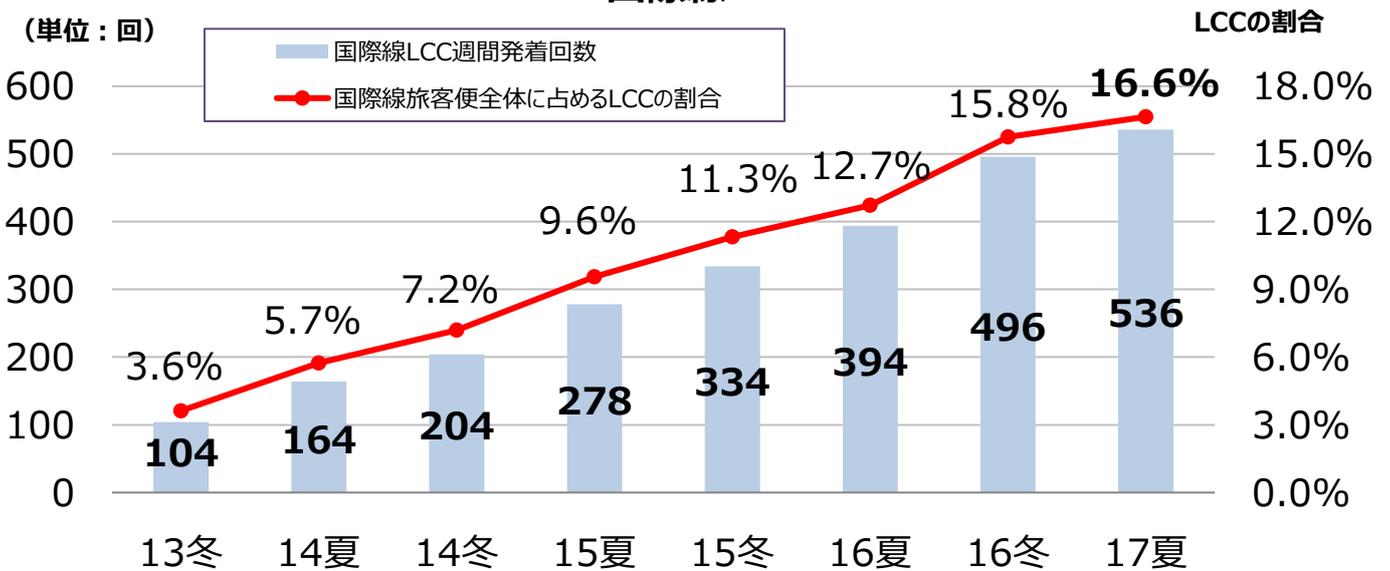
週間発着回数
(単位：回)

旅客便 (国際線+国内線)



週間発着回数
(単位：回)

国際線



週間発着回数
(単位：回)

国内線

